

学校企画計画書（広島県宇賀小学校）

１．応募するプロジェクト名

「学校企画」

２．企画テーマ名称

ウェブふるさと市場

— 農業問題や電子商取引についての理解を深めよう —

３．企画のねらい

本校は広島県の中山間地の位置していて、町の人口は約 3200 人である。以前は第 1 次産業が中心であったこの地域も、農業の収入だけで生計が立ちにくく、兼業農家がほとんどだ。他地域に働きに出るものが多く、農業従事者人数も減り、地域は過疎化の傾向にある。子ども達は一番身近である農業に関心が低く、また、機械化が進んだことにより、家が農業をしても手伝いで農作業をする子はほとんどいない。

こういった過疎の課題を持つ町では、経済効率が悪く商売が成り立たないので店の数も少ない。子どもたちの中には、自分で買物をする経験が少ない子どもも多い。

インターネットサービスにおいても同様で、専用線や常時接続サービスなどけられず、現在、ISDN 回線を引いているが、品質が悪くテレビ会議をしてもトラフィックが低下し音声止まってしまうような状況にある。また、携帯電話や PHS によるインターネットの利用も山間部のため使えない。こんな状況の中、地域ボランティア団体がインターネットの利用を促しても、ネットワークの広がりはいずれも鈍い。

そこで、インターネットを利用し、自分達で作った農産物をホームページで紹介する。また、農薬の問題や有機栽培、遺伝子組み替え食品についても学習し、チャットを使ったディベートをする。ホームページ上の市場で、自分たちの栽培した農産物を交流相手校と物々交換し、可能なら電子マネーを用いての取引をする中で、市場の仕組みを考えたり、農産物の価値について考えたりする中で、中山間地域におけるインターネット利用の有効性を研究したい。また、今後ますます利用される電子商取引についても理解を深めたい。さらに、小規模校であるため、教科においてもネットワークを使った交流学习をし、地域に紹介する中で、地域におけるインターネット利用の活性化を図りたい。

4．企画の概要

(1) 対象 小学校 3～6 学年

(2) 実施内容

準備

- ・ 総合的学習の時間に、減反の田を借りての農作物づくりをする。
- ・ 地域のネットワーク団体の協力を得て、CGI を使った電子商取引のできるホームページづくりをする。
- ・ 小規模校のネットワークやこれまで交流相手校に企画参加を呼びかける。

実施内容

- ・ 転作の田を借用し農産物の栽培をする。
- ・ 自分達で作った農産物の紹介や、作る過程で工夫したことをホームページに載せる。
- ・ 作物の栽培方法や、農薬の問題、有機栽培、遺伝子組み替え食品の問題など、インターネットを使って検索し情報収集をする。また、チャット、テレビ会議を使つての討論会もする。
- ・ インターネット上に「ふるさと市場」の作成
 - 青果市場の見学
 - インターネットを使つての販売方法の学習（竹すみ、家具、養鶏、工芸品など）
 - 自分たちの農産物を使つて、市場の模擬体験
 - CGI を使った「ふるさと市場」の作成
- ・ そのページを使い、互いの商品を交換したり、必要に応じて、企画参加校内のみ有効な電子マネーを設け、オークションのようにして商品の交換する。（指導案 1）
- ・ 地方独特の料理など、参加校どうしテレビ会議などを利用して交流学习をする。
- ・ 近隣の企画参加校が集まり、地域の人を招待して収穫祭をする。

評価

- ・ 農産物についての価値観をもつことができたか。
- ・ 電子商取引について理解することができたか。
- ・ 地域におけるインターネット利用を活性化し、教育に役立てることができたか。

5．実施体制

(1) 実施体制

職員全員による協力体制のもと，職員のインターネット研修会を開き活用能力の充実を図る。

地域のネットワークボランティアに技術的協力を願う。

協力校として，広島県北のインターネット利用可能な小規模校ネットワークに参加に協力を呼びかける。

(2) 実施スケジュール

6 月

- ・ 転作の田を借用し農産物の栽培をする。
- ・ 自分達で作った農産物の紹介や，作る過程で工夫したことをホームページに載せる。

7 月～9 月

- ・ 作物の栽培方法や，農薬の問題，有機栽培，遺伝子組み替え食品の問題など，インターネットを使って検索し情報収集をする。また，チャット，テレビ会議を使つての討論会もする。
- ・ インターネット上に「ふるさと市場」の作成
 - 青果市場の見学
 - インターネットを使つての販売方法の学習（竹すみ，家具，養鶏，工芸品など）
 - 自分たちの農産物を使つて，市場の模擬体験
 - CGI を使った「ふるさと市場」の作成

10 月

- ・ そのページを使い，互いの商品を交換したり，必要に応じて，企画参加校内のみ有効な電子マネーを設け，オークションのようにして商品の交換する。
- ・ 地方独特の料理など，参加校どうしテレビ会議などを利用して交流学习をする

11 月上旬

- ・ 近隣の企画参加校が集まり，地域の人を招待して収穫祭をする。

指導案 1

総合的学習指導案

- 1, 日 時 2001 年 10 月 9 日（火）～ 26 日（金）
- 2, 参加者 協力校児童
- 3, 題 材 ウェブ ふるさと市場
- 4, 題材について

○以前、この地域で盛んだった農業も、労働時間に対する収入の低さから農業を離れるものが多くなってきた。一方で、共同による農業で生産コストを下げたり、労働時間を短縮している営農集団があったり、安全な農産物生産から食品加工、販売まで一貫しておこない利益を得ているグループもある。このような中で、農業を栽培のみでとらえるのではなく、消費者のところへとどくまでの社会と広くとらえることにより、農業問題をより深く学習することができる。

○これまで本校の児童は、米作りや農産物を栽培し、労働の大切さや収穫することの喜びを味わう学習をしてきた。農産物を料理したり、ゲームを考えたりしながら、みんなで楽しい収穫祭をすることができた。しかし、農業の問題や食品の安全性、販売方法などについては考えを深めることはなかった。

○そこで、農産物を栽培し、その販売も自分たちでルールを決め、インターネットを利用して行うことにより、販売や電子商取引に対する興味関心を持たせたい。

5, 目 標

○みんなが利用しやすい販売のルールを作り、利用することができる。

6, 学習展開

学習内容

学習活動

支援と評価の工夫

とらえる

自作の農産物や、地域の特産物を紹介し、ふるさと市場で交換しよう。

1, 学習課題の確認

- ・ 本時の学習内容を確認する。

意欲的な態度を評価する。

売る

2, 出品する。

- ・ 自作の農産物，加工品を作る課程や，工夫したことなどを紹介しながら出品する。

工夫したことがうまく表現できたか。

買う

3, オークション形式で出品された農産物を買う。

- ・ 参加者どうしがほしい商品を競り落とし購入する。

オークションについて理解を深めることができたか。

まとめる

4, 感想をメールで送る。

- ・ 農産物を受け取った感想や，オークションに参加した感想をメールに書き相手に送る。

相手の良いところが評価できたか。